

# 市同和教育研究大会

## 解放教育を創造し あすへの実践を



南国市同和教育研究大会(市教育委員会・市同和教育研究協議会主催)は、十月十三日、市民体育館などの会場で開られました。差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう……を研究主題に、保母や小中学校の教職員、社会教育や行政職員、市民ら約五百人が参加し、「同和教育を全市民のものにするために、部落を解放する教育内容を創造しよう……」と、分科会にわかれて熱心に研究討議されました。

就学前教育―就学前教育の条件を高め、保育内容の実践をどのように創造するか、部落問題をしっかりと自分のものにし、自分とのかかり合いを考へる。▽目で見える保育でなく目で確める保育に。▽人権を守る基礎づくりをする保育。▽地域とかわり合いをもち、園を父兄に開放する。▽きめのこまかいカリキュラムと展開を大切に考へる。

健康―こどもたちの健康をどのように保障しているか、疾病に対する事後措置や予防接種に対する意識を高める。▽各校に養護教諭を配置してもらう。▽生徒委員会をつくり、学校自身が健康問題について全体で活動する。▽必ず朝食をとらせる。

進路保障―進路保障をどのように進めているか、落ちこぼれをなくするための施策(学力保障)の確立。▽就職差別を許さず機会均等をはかる。▽差別を正しく見つけ、差別をはね返す姿勢を身につけさせる。

障害児教育―障害児の教育を受ける権利をどのように保障しているか、摸索の中から初まった障害児保育を行政の中に確立させる。▽障害児センターなど研究機関の将来設置へ努力。▽障害幼児対策の確立。▽年齢超過児の入学措置。

「小高」―高学年における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、具体的な同和教育の年間計画による全教科、各領域の系統指導と各学年の系統性、低学年―集団、仲間意識作り、中学年―集団を通じて身近なところからの学習、高学年―人権を大切にする科学的認識を深める学習。

教育内容「小低」―低学年における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、子どもをとりまく環境をよく見つけ、できる限りの努力をする。▽読書指導の中で心情を育て発表力をつける。▽差別の不合理を見ぬく力を育てる基礎学力をつける。▽集団学習を目標に年間計画で努力している。

「小高」―高学年における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、具体的な同和教育の年間計画による全教科、各領域の系統指導と各学年の系統性、低学年―集団、仲間意識作り、中学年―集団を通じて身近なところからの学習、高学年―人権を大切にする科学的認識を深める学習。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

「中学校」―中学校における同和教育の具体的なとりくみはどうあるべきか、部落問題を正しく受けとめられる集団づくり、▽現存している差別の実態と差別の歴史のものを科学的に理解させ、認識させる。▽人間尊敬の精神を基礎とする同和教育をすすめる。

社会教育―部落問題の解決をめざす社会教育活動をすすめるための条件は、どのように整備されているか、家庭内での同和教育が必要、潜在意識をなくする手だてが大切、学校教育と家庭における教育を一致させるよう努力する。▽あらゆる差別についての話し合いをすすめる、理解し合う、▽労働問題や農民問題と部落問題とからめるなど会の発想の転換をはかる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

行政―部落解放のために、行政はどのようにとりくみ方をしているか、解放行政をすすめるためには、行政の役割の位置づけや目的など、解放の道筋をきちんとおき行政に当てる。▽同和対策事業の正しい認識をもつ、特別措置法の原点をはっきりみきわめる。

### ◇産業◇

福重幸一(69)さん



稲生882

若くから農業を継ぎ、爾来五十年、数々ひたむきな情勢を傾けて専念。稲生882

### 福重幸一さんら

### 五人に決まる

### 文化の日に 表彰式

### ◇社会福祉◇

竹島春江(86)さん



前浜349-2

昭和五年東京高等蚕糸卒、製糸会社へ入社、昭和十八年スラバヤ

金堂久喜(65)さん



廿枝1835

町村合併後の後免町長となり、大同合併に尽力し南国市の発足に力をこめた。四十二年二期八年市長を勤め、通算二十八年余り地方自治発展のため貢献されたほか、長岡後免、市の農業委員長、県農業会議会長などを歴任、現在、県農業会議議長、山田堰井筋土地改良区理事長として活躍されている。

### ◇一般◇

山本長利(75)さん



久枝152

若いときから農業と漁業に今日までひたすらに生き、温厚、篤実、め熱々と努力されている。

このほど開かれました、第九回市民賞を決める表彰式(利岡富次会長)は、市民から推せられた八人の候補者のなかから、福重幸一さんら五人を、また、とくに社会教育や体育に功績のあった利岡完さんに感謝状を贈ることを決めました。十一月三日の文化の日に表彰式が行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が、一人ひとりに贈られます。(氏名は受付順)

### ◇一般◇

溝渕亀吾(82)さん



大埔乙1040

若い頃、青年団長として活躍、軍隊に進み陸軍中尉で復員、昭和二十三年大篠農協専務理事、昭和二十九年と農協の発展に寄与。土木委員、二十二年、公民館長、十二年、大篠農協専務理事、十二年、市農業研究連合会長、十三年、民生委員、二十年、納税組合長、二十四年などを歴任、地域の人の福祉向上のため献身的に努力され、合併委員として香長村の発足を推進、香長村会議員、市議会議員八年、市監査委員を努めるなど、行政、産業、福祉など幅広く尽力された。

### ◇感謝状◇

利岡完(67)さん

昭和四年から四十二年まで教職にあり、市スポーツ振興審議会議長や社会教育委員など社会教育、社会体育に活躍、市民の体位向上に多大の貢献をされた。

よみがえらせよう・きれいな川と美しい心

毎月第三日曜日

川の清掃日